

うえなえ

Vol.422 2023.7

新型コロナウイルス感染症 5 類 になっ て

新型コロナウイルス感染症は、これまで2類相当でしたが、令和5年5月8日から5類感染症に移行となりました。今号では今後の感染対策についてと当法人の取り組みについてを報告してもらいます。



感染症は感染力や感染した場合の重篤性などを総合的に勘案し感染症法で1～5類等に分類されています。新型コロナウイルス感染症は、これまで2類相当として扱われていましたが、令和5年5月8日から5類感染症となり、感染対策について一律に対応を求める事がなくなり、個人の選択を尊重し、自主的な取組を基本とした感染症対策に変わりました。



これらのことを受けて、社会医療法人こぶしでも面会方法やリハビリ活動のあり方などが変わってきています。具体的に今までリモートで行っていた面会は直接の面会が可能となり、必要最低限でお願いしていた入院中の方の外出泊も制限がなくなりました。今まで個別対応を余儀なくされていたARP（アルコールリハビリテーションプログラム）も久しぶりに小集団で行われ、スタッフが講師となった勉強会（写真上）やミーティングなども徐々に再開しています。また「地域生活研究会」では暫くリモートでピアサポーターとの交流を続けていましたが、6月からは久しぶりにピアサポーターに病院に来てもらい、6月20日は数年ぶりに地域生活支援センターに出かける

ことが出来ました（写真下）。7月18日には苫小牧市内にある緑が丘公園金太郎の池への外出、8月にはスイカ割が計画されており、ピアサポーターとの交流が再び活発に行われる予定です。

これからは感染対策の必要性に加え、経済的・社会的合理性や、持続可能かも考慮して感染対策に取り組んでいくこととなります。とは言え、社会全体が感染対策の緩和に向かっていても、感染力が変化していないことから、医療機関である当法人はある程度の感染対策を維持していかなくてはなりません。今後は日本環境感染学会より発表された『医療機関における基本的な考え方』を軸に感染対策を行い、安全にご利用いただける環境を維持しながら、治療環境の充実を図っていきたいと思っております。

ウトナイ病院通信

第8回 酷暑と地味な業務

建物の建築は順調に進んでいますが、先月から続く物品の整理や紙媒体の選別・データ化などの地味な引っ越し業務が、通常の業務の他に行われているため、気持ち的にはもう盛夏でぐったりしています。植苗病院も昔に比べると冷房の効いていないところは少なくなっていますが、蒸し暑いなか作業するには過酷な部屋がいくつか存在しています。もう既に酷暑の気配が漂っている植苗では、植苗病院で過ごす最後の夏、引っ越し業務をしながら、どう乗り切るかで頭を悩ませています。昨年の夏も電子カルテ導入で慌ただしかったですが、無事に乗り切る事が出来たので多分大丈夫でしょう。・・・とりたいです。

7月は最後の新病院内覧会が行われます。今回はメジャーを持って、カメラを持って、実際の配置を頭に思い描き、最終チェックをしなくてはなりません。次のウトナイ通信はきっと画像たくさんの内容盛りだくさんになると思いますので、皆様乞うご期待です。



覆いは最終日に劇的に外れるのでしょうか？



最近、人工知能（AI）という言葉をよく聞く。AIとは、簡単に言えば人間の知的活動をコンピュータに行わせる技術を指すようだが、応用範囲は幅広く、自動車運転や顔認識のみならず、対話のように人間にしかできなかった作業も可能になりつつある。医療の分野では、特殊な白血病の診断をAIがサポートした事例が既にあり、また、医療画像の診断は、近い将来に人間よりも正確に見逃しなくAIが行うとの見通しすらある。

AIの活用で、より快適な日常になる明るい未来を期待したいが、一方でAIに仕事を奪われて失職するのではと心配になる。先日、日本の某巨大企業の社長が毎日のように対話型AIに話しかけてアイデアを磨いているという報道を見たが、そのようにAIを使いこなす技術がこれから必要になるのかもしれない。

私も試しに対話型AIを使ってみた。単純な文書の作成はそれなりに上手にできるが、信頼性に欠く部分も大きい。例えば、とあるAIに「植苗病院について100文字以内で教えて」と尋ねたところ「植苗病院は、植物の健康診断と治療を専門とする病院です。病気や害虫被害の原因を特定し、適切な治療法を提供します」と。暫くの間はそれぞれのAIの特性を理解して、どのように付き合っていくのかを模索する時期が続くのだろうか。

(H.A)



精神科医 田中 尚朗

第4回 駅

ボストンのターミナル駅は、南駅（South Station）と北駅（North Station）の2つです。南駅はワシントンを発してフィラデルフィア、ニューヨーク、コネティカット州、ロードアイランド州を経由する735kmの路線の終点で、かつ通勤ターミナル7路線の起点ともなっています。北駅はニューハンプシャー州を経て米国の最北に位置するメイン州の州都ポートランド、さらにブランズウィックに至る233kmの路線、および4本の通勤ターミナルの起点となっています。2019年に改装が終わり、真新しい感じのする駅です。両駅とも地下鉄・バスのターミナル駅にもなっています。

面白いのは、両駅とも駅舎内に線路の終端があることです。ヨーロッパの駅でよく見られる「頭端式」というやつです。ですので線路を伸ばす余地はなく、列車は何としてでも終端より前で停止しなくてはなりません。行き過ぎると駅舎内に突っ込むことになってしまうからです。このため、両駅ではかなり前から列車は減速を始め、歩くよりも遅いスピードで入線します。

南駅と北駅を直接結ぶ鉄道があれば、ワシントンからメイン州まで直線で乗り通せるわけですが、残念ながらそのようにはなっていません。なにしろどちらも「頭端式」なので。もっとも、正確には両駅の間をつなぐ線路は存在はするのですが、曲がりくねったルートであり、かつ現在ではその一部が年に数回、いわば儀式的に使用されるだけとなっています。なので南駅と北駅の間を移動するには、地下鉄を2路線乗り継がなければならない状態となっています。ターミナル駅以外の駅は、基本的に無人駅です。駅舎もなく、ホームだけが置かれている状況で、列車のくる時間だけ人々が集まってきます。時刻表で「Flag Stop」（旗で止まる）と表示されている駅は、列車が来るときにホームに立って合図しなければならないとされています。



お知らせ

◆ 外来休診のお知らせ ◆

社会医療法人こぶしでは8/11（木）～8/17（水）の間、外来診療が休診となります。ご利用されています皆様にはご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

	8/10 木曜日	8/11 金曜日	8/12 土曜日	8/13 日曜日	8/14 月曜日	8/15 火曜日	8/16 水曜日	8/17 木曜日	8/18 金曜日
外 来	通常 診療	休 診							通常 診療

お知らせ

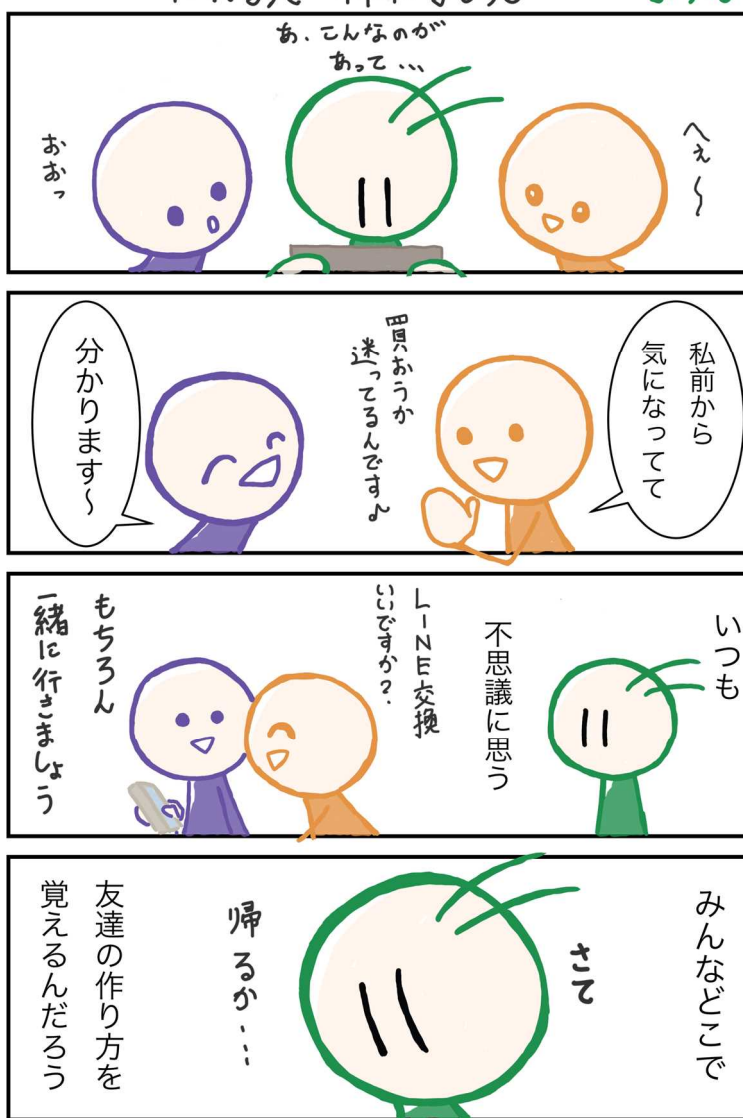
◆ 入院中の方へ手続きのお願い ◆

入院時食事代標準負担額の減額認定及び入院医療費の限度額適用認定、国民健康保険証、後期高齢者医療被保険者証、ひとり親・障害受給者証の有効期限が7月31日までとなっておりますので、**8月中**に各市町村などの窓口で手続きをしていただき、新しい認定証を植苗病院事務に提出をお願いいたします。ご不明な点がございましたら各市町村などの窓口又は植苗病院医事課までお問い合わせ下さい。



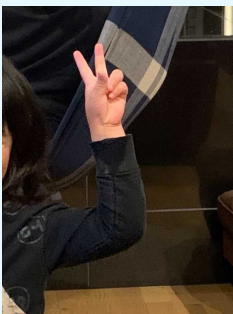
作れる人・作れない人

まりも



病む人と出会い
病む人を支え
病む人に学ぶ

発行
社会医療法人こびし広報委員会
苫小牧市字植苗52-2
TEL:0144-58-2314
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



元気になったよのピース

< 後記 >

4月に小学生になった姪は、新しい生活の始まりにちょっと躓いて調子が悪かったらしいです。5月にもう大丈夫とお知らせがあり、6月には元気に外で遊んでいるみたいです。夏休みに会うのが楽しみです。

(K.S)